

		令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)	
事業名	生涯スポーツ振興事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者
事業開始年度	昭和35年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	健康スポーツ課		健康スポーツ課長 和田 訓 地域スポーツ課長 橋田 裕
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第3条、6条、7条、14条、21条			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	東京大会を契機とした共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の実現						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-33.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	第3期スポーツ基本計画では、国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を構築するという目標を掲げ、20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率が70%になることを目指している。 本事業では、国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備を図るものである。						
現状・課題 (5行程度以内)	国民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるようにするためには、性別、年齢、障害の有無等にかかわらず広く一般に向けた普及啓発や環境整備を行うことが重要である。また、多様な国民一人一人が安全・安心に、楽しくスポーツを実施できるような環境整備が重要である。						
事業概要 (5行程度以内)	生涯を通じて、いつでも、どこでも、誰でもスポーツに親しめる社会の実現に向けて、以下の事業を実施することにより、生涯スポーツ社会の実現に向けた環境整備を行う。 (1)生涯スポーツ・体力づくり全国会議の開催 (2)指導者養成研修会の開催 (3)体力・運動能力調査の実施 (4)生涯スポーツ功労者等の表彰 (5)体力づくり国民運動 (6)スポーツ施設等安全管理推進事業の実施						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	35	35	35	35	35
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	35	35	35	35	35	
	執行額(G)		19	24	26		
	執行率(%) =(G)/(F)		54%	69%	74%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		54%	69%	74%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		スポーツ振興費		-		
		(目)	庁費	22		22	
		(目)	諸謝金	10		10	
		(目)	委員等旅費	3		3	
		(目)	職員旅費	1		1	
			その他	▲ 1		▲ 1	
	計(A)		35	35			

活動内容① (アクティビティ)		地方公共団体、スポーツ関連団体等が一堂に会し、研究協議や意見交換を行い、一層の連携体制の構築、生涯スポーツの振興に対する機運醸成に資する全国会議を実施。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		生涯スポーツ・体力づくり全国会議参加者数の増加	生涯スポーツ・体力づくり全国会議参加者数	活動実績	人	1,181	692	621	-	-	
				当初見込み	人	700	700	700	700		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	生涯スポーツ・体力づくり全国会議を開催し、その内容が有意義であれば参加者の生涯スポーツの振興に対する理解が深まると考えられるため、会議参加者の満足度を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		参加者の会議に対する満足度の向上	参加者に対して実施する満足度調査において「大変満足した」「満足した」等プラスの評価の割合	成果実績	%	-	91.8	89.8	-		
				目標値	%	-	90	90	90		
				達成度	%	-	102	99.8	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		生涯スポーツ・体力づくり全国会議参加者に対する満足度調査									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	全国会議参加者の満足度が向上することは、一層の連携体制の構築、生涯スポーツの振興に対する機運醸成に繋がると考えられるため、「20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率」を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度		
		20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率の向上	20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率	成果実績	%	59.9	56.4	52.3	-		
				目標値	%	65	65	70	70		
				達成度	%	92.2	86.8	74.7	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(スポーツ庁)									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

活動内容② (アクティビティ)		登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる協議会を実施。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		全国山岳遭難対策協議会参加者数の増加	全国山岳遭難対策協議会の参加者数	活動実績	人	-	658	665	650	-
				当初見込み	人	-	-	-	-	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる協議会を実施することは、登山における遭難事故者数の減少につながるものと考えられる。このため、「登山における遭難事故者数の減少」を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		登山における遭難事故者数の減少	山岳遭難者数	成果実績	人	2,697	3,075	3,506	-	
				目標値	人	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		『令和4年における山岳遭難の概況』(警察庁)								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	山岳遭難者数の減少は、登山者の安全・安心の確保に寄与し、本人の希望しない理由等でスポーツから離れたり、スポーツに親しむ機会を奪われたりすることの抑制につながる。このことは、スポーツ実施者数の増加につながり、ひいてはスポーツ実施率が向上すると考えられるため、長期アウトカムに「20歳以上のスポーツ実施率の向上」を設定した。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率の向上	20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率	成果実績	%	59.9	56.4	52.3	-	
				目標値	%	65	65	70	70	
				達成度	%	92.2	86.8	74.7	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(スポーツ庁)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容③ (アクティビティ)		国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得るため、体力・運動能力調査を実施。									
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		体力・運動能力調査の実施	(3)体力・運動能力調査の標本数	活動実績	票	14,821	48,384	56,365	－	－	
				当初見込み	票	74,194	74,194	74,194	74,194	－	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本調査を毎年実施することにより、国民の体力・運動能力の変化を経年で把握することができ、これらの分析結果を公表することは、スポーツ関係団体による適切なスポーツ施策の企画・立案につながると考える。このため、「体力・運動能力調査のHPページビュー数(アクセス数)」を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度		
		体力・運動能力調査のHPページビュー数(アクセス数)の増加	体力・運動能力調査のHPページビュー数(アクセス数)	成果実績	回	30,142	35,994	41,764	－		
				目標値	回	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典) / 定性的なアウトカムに関する成果実績		らくらログ解析：R4体力・運動能力調査									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	本調査を毎年実施することにより、国民の体力・運動能力の変化を経年で把握することができ、これらの分析結果を公表することは、スポーツ関係団体の適切なスポーツ施策の企画・立案に繋がる。その結果、国民のスポーツ実施率の向上に繋がると考えられるため、「20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率」を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度		
		20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率の向上	20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率	成果実績	%	59.9	56.4	52.3	－		
				目標値	%	65	65	70	70		
				達成度	%	92.2	86.8	74.7	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典) / 定性的なアウトカムに関する成果実績		「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(スポーツ庁)									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容④ (アクティビティ)		地域スポーツの普及・発展に貢献したスポーツ関係者、スポーツ団体を、「生涯スポーツ功労者」「生涯スポーツ優良団体」「スポーツ推進委員功労者」として表彰。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		功労者及び団体表彰の実施	(4)生涯スポーツ功労者表彰 及び生涯スポーツ優良団体表 彰者数	活動実績	人	389	289	260	-	-
				当初見込み	人	390	390	390	390	-
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本表彰により、スポーツ関係者及びスポーツ団体を表彰することで、一層の連携体制の構築、生涯スポーツの振興に対する機運醸成、地域又は職域におけるスポーツの健全な普及及び発展を促進し、国民のスポーツ実施率の向上に繋がると考えられる。このため、「20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率」を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度	
		20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率の向上	20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率	成果実績	%	59.9	56.4	-	8 年度	
				目標値	%	65	65	70	70	
				達成度	%	92.2	86.8	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関 する成果実績		「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(スポーツ庁)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		地域スポーツの普及・発展に貢献したスポーツ関係者、スポーツ団体を、「生涯スポーツ功労者」「生涯スポーツ優良団体」「スポーツ推進委員功労者」として表彰することで、事業の最終的な目標である「地域スポーツの普及・発展」が達成され、事業の目的達成につながるため。								

活動内容⑤ (アクティビティ)		スポーツ施設における事故防止に関する知識等の理解を深めるため、施設の設置者等を対象とした講習会を各都道府県と共催で開催。また、過去のスポーツ事故事例及びその発生原因、スポーツ事故・外傷・障害の防止に関する知識等の理解を深めるため、スポーツ指導者等を対象とした講習会を各都道府県と共催で開催。								
↓										
活動目標及び活動実績⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		講習会実施件数の向上	(6)スポーツ施設等安全管理講習会の実施件数	活動実績	件	24	37	30	-	-
				当初見込み	件	47	47	47	47	-
↓	成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	プール、体育館、武道場など、広く一般に使用されるスポーツ施設等における事故を未然に防止するため、「プール施設等安全管理講習会」を実施し、また、那須雪崩事故をはじめとした過去の遭難事故事例などに関する知識等の理解を深めるため、登山部顧問などのスポーツ指導者等を対象とした「登山部顧問等安全登山講習会」を実施する。 これらの講習会の実施により、国民が安心・安全に、楽しくスポーツを実施できるような環境を整備することは、スポーツにおける事故者数の減少に繋がると考える。そのため、短期アウトカムに「山岳遭難者数・水難者数の減少」を設定した。								
成果目標及び成果実績⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		山岳遭難者数・水難者数の減少	山岳遭難者数・水難者数	成果実績	人	4,244	4,700	5,146	-	
				目標値	人	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		『令和4年における山岳遭難の概況』(警察庁) 『令和4年における水難の概況』(警察庁)								
↓	成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	環境整備による山岳遭難者数・水難者数の減少は、スポーツを実施する者の安全・安心の確保に寄与し、本人の希望しない理由等でスポーツから離れたり、スポーツに親しむ機会を奪われたりすることの抑制につながる。このことは、スポーツ実施者数の増加につながり、ひいてはスポーツ実施率が向上すると考えられるため、長期アウトカムに「20歳以上のスポーツ実施率の向上」を設定した。								
成果目標及び成果実績⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率の向上	20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率	成果実績	%	59.9	56.4	52.3	-	
				目標値	%	65	65	70	70	
				達成度	%	92.2	86.8	74.7	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(スポーツ庁)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	第3期スポーツ基本計画								
	URL	https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_3.pdf								
	該当箇所	p.28								

[illegible]

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

スポーツ庁
26百万円

(1)生涯スポーツ・体力づくり全国会議の実施
(2)指導者養成研修会の開催
①全国スポーツ推進委員研究協議会
②全国山岳遭難対策協議会
(3)体力・運動能力調査の実施
(4)生涯スポーツ功労者等の表彰
(5)体力づくり国民運動事務費

【支出委任】

A. 生涯スポーツ・体力づくり全国会議
ウェビナー関連業務
(静岡県)
6百万円

生涯スポーツ振興のための現状及び課題について、研究協議や意見交換を行い、相互理解を深め、関係者間の協調・協力体制の強化と生涯スポーツ振興の気運の醸成を目的とする。

【随意契約(少額)】

B. 全国山岳遭難対策会議の開催
(株)ツクルス
1百万円

登山における遭難事故を防止するため、関係者間で研究協議を行い、今後の遭難対策の具体的施策に役立てることを目的とする。

【支出委任】

C. 体力・運動能力調査の実施
都道府県(全38都道府県)
5百万円

国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得る。

【随意契約(少額)】

D. 生涯スポーツ功労者等の表彰
(株)宮本商行
2百万円

地域スポーツの振興に功績顕著な生涯スポーツ関係者及びスポーツ関係団体等を文部科学大臣が表彰する。

【随意契約(少額)】

E. 体力づくり強調月間ポスターの印刷業務等
(株)ブルーホップ
1百万円

体力づくり強調月間の普及を通じて、体力づくり国民運動を強力に推進するためにポスターを作成する。

【支出委任】

F. スポーツ施設等安全管理推進事業の実施
都道府県(全34都道府県)
3百万円

プール、体育館、武道場など、子どもをはじめ広く一般に利用されるスポーツ施設における事故を未然に防止するための施設・設備の点検や指導を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ウェビナー関連業務	6	雑役務費	会議の配信業務	1
計		6	計		1
C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	講師報酬等	0.5	役務費	生涯スポーツ功労者表彰の受賞者記念品作成一式	2
消耗品費	体力・運動能力調査に係る消耗品	0.2			
計		0.7	計		2
E.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	体力づくり強化月間ポスター発送業務一式	1	諸謝金	講師報酬等	0.2
			委員旅費	講師旅費等	0
計		1	計		0.2

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

